

個人投資家向け 会社説明会

2026年2月14日

東証プライム

8158



ソーダニッカ株式会社

1. ソーダニッカのご紹介
2. 成長戦略
中期経営計画“Go forward STAGE3”
3. 株主還元

1. ソーダニッカのご紹介
2. 成長戦略
中期経営計画“Go forward STAGE3”
3. 株主還元

ソーダニッカとは？



化学品専門商社

➤ 専門商社とは、

特定の業界・分野に特化した商社

カ性ソーダ販売
国内トップクラス



仕入・顧客数
3,500社以上



過去最高益を
更新中



沿革

晒粉販売(株)

1932年10月設立

日本アンモニア法曹達販売(株)

1932年12月設立

曹達工業薬品配給(株)

1942年3月設立

曹達工業薬品統制(株)

1944年3月改組

(前身)

曹達販売(株)

ソーダ製品を国内に
一手販売していた会社

1946年4月改組

1947年3月解散

曹達商事(株)

1947年設立

ソーダ商事(株)

新日化産業(株)

販社 1社

ソーダニッカ(株)

1979年4月
合併

戦後より化学品の安定供給に貢献してきた
独立系の化学品商社

当社の強み：カ性ソーダを筆頭とする安定的な収益基盤

- カ性ソーダとは？

化学名：水酸化ナトリウム (NaOH)

様々な場面で使われる、産業・生活に必要な化学品

- 当社はカ性ソーダの国内取扱高で**トップクラス**

国内すべての電解メーカー(ソーダ製品の製造メーカー)と取引がある



使用される産業の例

化学品



紙製品



上下水道



電子・デバイス



事業概要

3つのセグメントで事業を展開

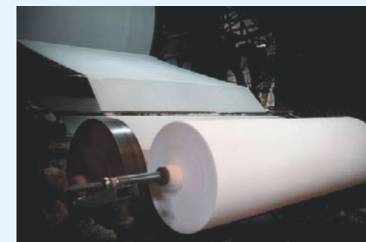
その他セグメント

グループ会社を通じて周辺事業を実施。賃貸収入も含まれる。



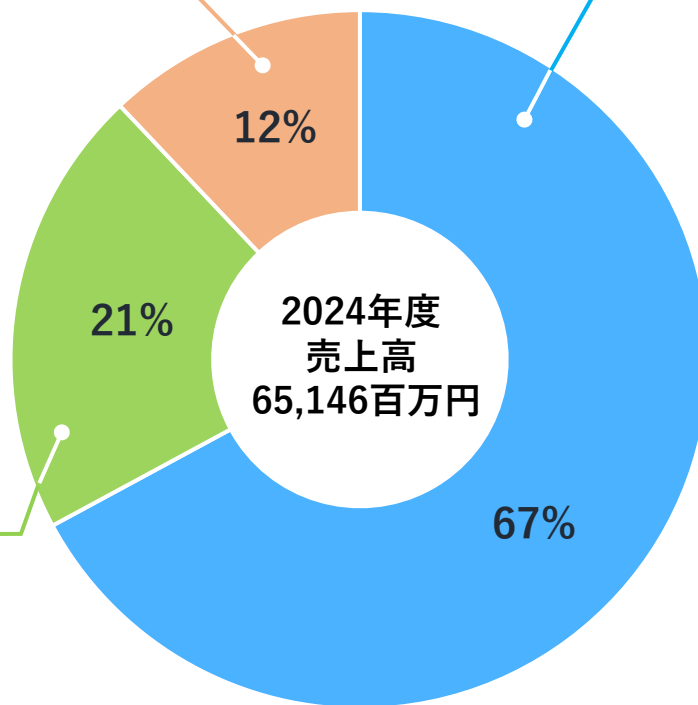
化学品セグメント

無機薬品、有機薬品を化学、紙パルプ、食品・洗剤、官公庁などの様々な市場へ販売。



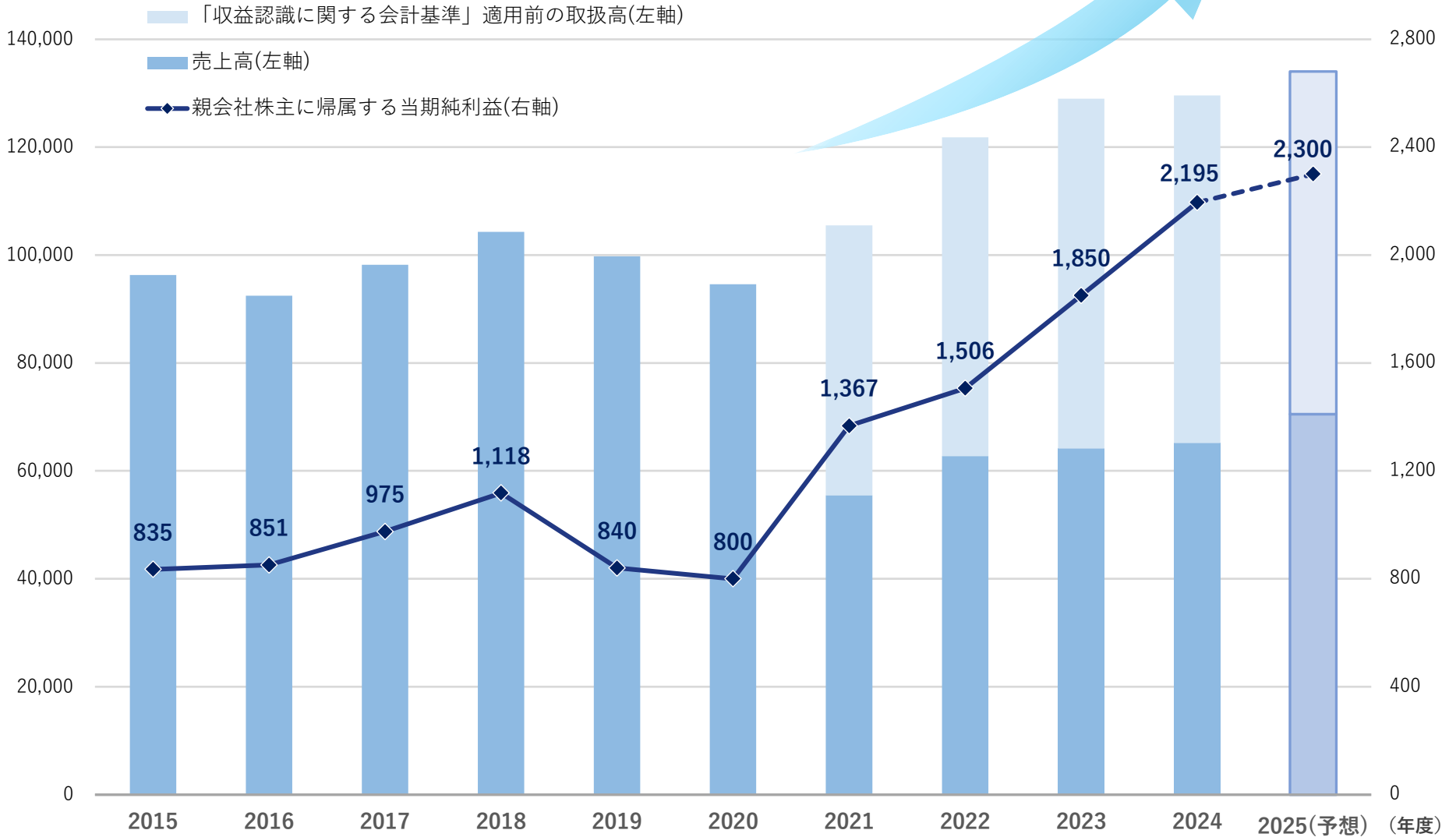
機能材セグメント

合成樹脂、機器・材料を食品、樹脂加工、電機などの様々な市場へ販売。



業績推移

単位：百万円



※2021年度～
「収益認識に関する会計基準」等を適用

当期(2025年度)第3四半期決算の状況

自治体向け 及び エレクトロニクス業界向けの無機薬品や、
ペット関連商品・日用品関連商品の受注好調などが寄与し、
前年同期比で増収増益となった。

(単位：百万円)	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減額	増減率	進捗率 (対通期予想)
売上高	48,902	50,141	+1,239	+2.5%	71.1%
営業利益	1,708	1,935	+227	+13.3%	82.7%
経常利益	2,059	2,371	+312	+15.1%	88.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,846	1,848	+2	+0.1%	80.3%

化学品市況の安定が見込まれる中、
引き続き化学品事業全般の取引が堅調に推移する見通し。
中期経営計画の各施策を着実に実行することで、増収増益の達成を見込む。

(単位：百万円)	2024年度 通期	2025年度 通期見通し	増減額	増減率
売上高	65,146	70,500	+5,354	(+8.2%)
営業利益	2,109	2,340	+231	(+10.9%)
経常利益	2,477	2,670	+193	(+7.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,195	2,300	+105	(+4.8%)

1. ソーダニッカのご紹介
2. **成長戦略**
中期経営計画“Go forward STAGE3”
3. 株主還元

Go forward

化学・機能製品に関する商品からサービスまでの

あらゆる機能を備え、顧客と社会が抱える

課題の解決に貢献する企業

「事業価値」「社会価値」
双方の向上の実現

Start
2016

2025

Goal
2030

目指す社会

豊かで持続可能な社会

経済成長を続けながら、脱炭素社会を実現するとともに
安全・安心な生活に貢献し、誰もが多様な価値観を大切にできる社会を目指す

役割

“社会と化学のコーディネーター”として
取引先・地域社会とともに社会課題を解決する

指針

事業戦略とサステナビリティの融合強化

価値創造の
マテリアリティ

経営基盤の
マテリアリティ

社会課題の解決に資する
次世代ビジネスの創出

中期経営計画“Go forward STAGE3”



基本方針

新たな成長軌道をつくるために「変革」を果たす

財務目標

	2023年度 実績	2026年度 目標
連結当期純利益	18.5億円	24億円以上
ROE	6.6%	8%以上
配当性向	44.4%	40%以上

投資枠（STAGE3累計）	
基盤整備 + 成長投資	100億円

STAGE 3 想定 キャッシュ・アロケーション (2023年度～2026年度累計)

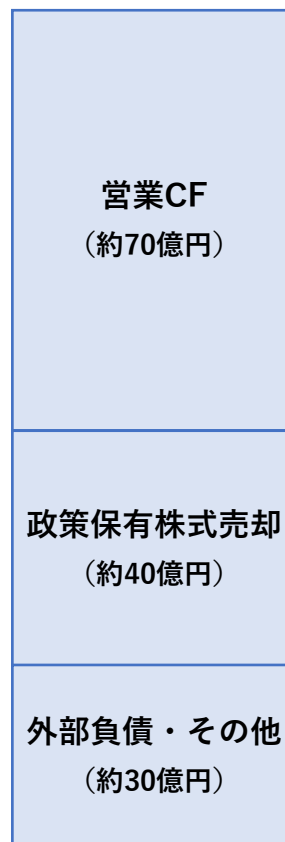
方針

- ✓ 収益性・健全性・株主還元・成長投資のバランスがとれた財務戦略により、企業価値向上を追求する
- ✓ 企業価値向上に向けた積極的な成長投資と安定した株主還元を目指し、最適なキャッシュ・アロケーションを実施

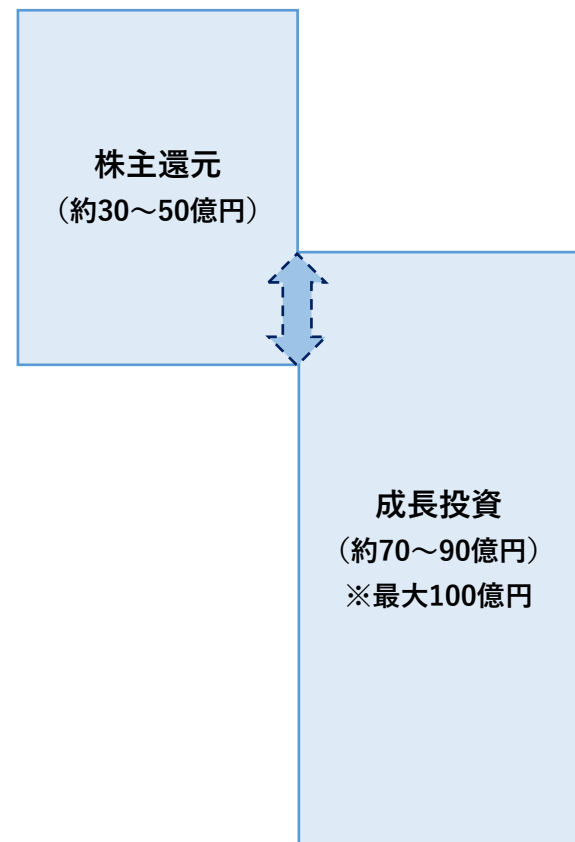
目標とする財務指標

- ✓ 収益性 : ROE 8%以上
- ✓ 健全性 : 自己資本比率30%以上
- ✓ 株主還元 : 配当性向40%以上
- ✓ 投資 : 成長投資 + 基盤投資100億円

キャッシュ・イン
(約140億円)



キャッシュ・アウト
(約140億円前後)





基盤事業

化学品・機能材のトレーディングに関する事業

各種化学製品 ガラス 紙

水道水 産業機械・設備 電子デバイス

パッケージ・新素材事業

パッケージ・プラスチック代替素材等に関する事業

食品パッケージ 環境配慮型製品
(例：ボトル容器)

生活ソリューション事業

日用品・化粧品等の製造受託に関する事業

日用品
(例：石鹸、洗剤) 化粧品

基盤事業

化学品・機能材（工業薬品・樹脂製品・機器類 etc.）のトレーディングに関する事業

Point
1

エリア戦略の再構築

- ▶ 物流機能の活用・強化
- ▶ 同業等との提携

Point
2

新たなビジネスモデルへの挑戦

- ▶ 電子デバイス、エネルギー産業等をターゲットに事業化推進

Point
3

生産者のサステナビリティへの貢献

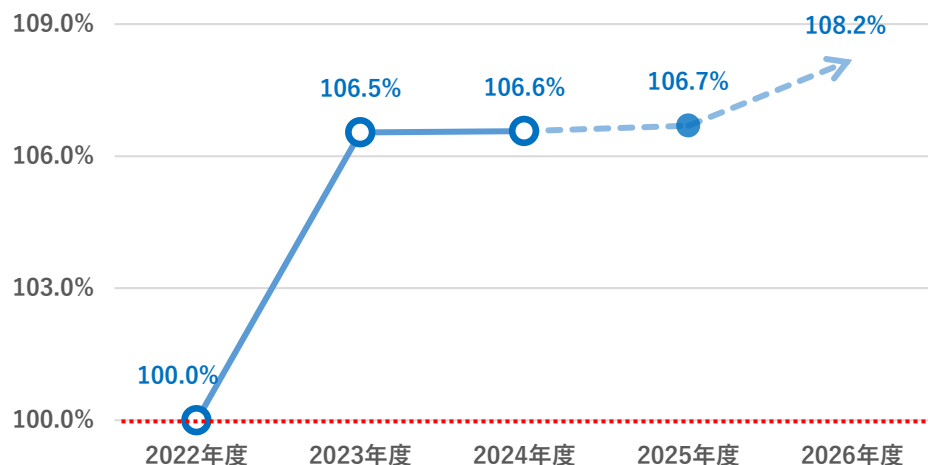
- ▶ 産業を支える「生産者」が抱える課題解決に資する商品の提供

中計STAGE3(2023~2026年度)

実施事項・今後の展望

- 物流機能の拡充、電子デバイス産業向け販売の拡大
- 物流機能強化等の施策により業績の伸長を見込む

売上高伸長率（対基準年）※概算参考値



中計 Go forward STAGE3

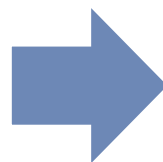
パッケージ・新素材事業

食品等のパッケージ及び、プラスチック代替素材（脱プラ・省プラ）等に関する事業

Point
1

国内市場での独自のポジション確立

- ▶ 印刷・成型加工機能強化
- ▶ 環境配慮型商品の開発/展開



Point
2

海外市場の深耕

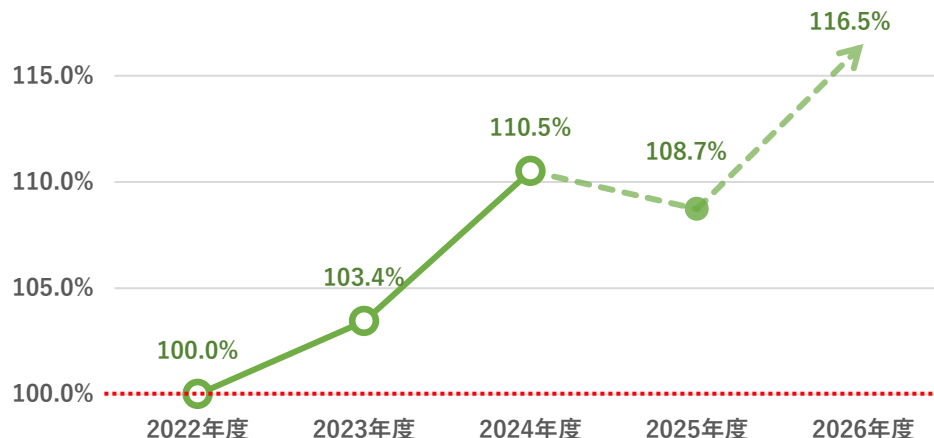
- ▶ 各現地法人における展開
- ▶ 新たなポテンシャル市場への挑戦

中計STAGE3(2023~2026年度)

実施事項・今後の展望

- パッケージ製造設備への投資、環境配慮型商品の実商化
- (株)日本包装の稼働向上や、引合い旺盛な海外向け包装機器の受注を背景に、業績の伸長を見込む

売上高伸長率（対基準年） ※概算参考値



中計 Go forward STAGE3

パッケージ：東南アジア市場への挑戦

海外現地法人（上海・インドネシア・ベトナム）と連携し東南アジア市場でパッケージ商材を展開



■ 食品パッケージ向け機能性フィルム



■ 包装関連機器



生活ソリューション事業

日用品・化粧品等の製造受託に関する事業

Point 1

専門人財の強化

- ▶ 専門部署設立による、人財育成
- ▶ 経験者の獲得

Point 2

実績づくりと経験の蓄積

- ▶ 特定領域で集中的に提案を推進

Point 3

協業先の拡大・連携強化

- ▶ OEM/ODMの対応製品拡大

OEM：生産外部委託 (Original Equipment Manufacturing)

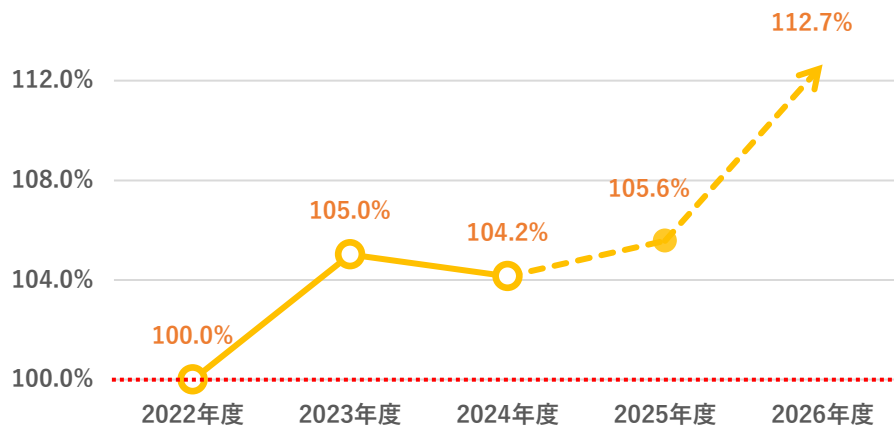
ODM：設計・生産外部委託 (Original Design Manufacturing)

中計STAGE3(2023～2026年度)

実施事項・今後の展望

- 日用品・業務用分野の受託案件の増加、専門部署の設置、ODM提案会の実施
- 日用品のOEM/ODM仲介取引の成約率を高め、業績伸長を目指す

売上高伸長率（対基準年） ※概算参考値



中計 Go forward STAGE3

OEM仲介の分野を広げながら、
海外OEM先の活用を視野に入れ、事業拡大を目指す

～2026 <u>基盤強化</u>	2027～2028 <u>成長加速</u>	2029～2030 <u>確立期</u>
<ul style="list-style-type: none">● OEM仲介機能／専門性の強化● 専門人材の育成● 新規輸入商材の 拡充	<ul style="list-style-type: none">● 化粧品分野等への進出● 海外OEMメーカー探索● ASEAN+1 へのOEM品輸出	<ul style="list-style-type: none">● 海外OEM仲介の実績化● 製造機能の保有検討

トピックス：ペット向け健康商品の販売

ペット関連市場に向け、ペットフードやペットケア商品のOEM提案を強化。
ブランドホルダーの開発要望に応じた、仕様協議・委託先選定が奏功

ミネラルゼロのペットの純水 ▶



中長期的に目指す「+αの機能」

“社会と化学のコーディネーター”として
トレーディング+αの機能によって、豊かで持続可能な社会に貢献する

日用品分野を中心とする
製造受託機能



ケミカルセンターを起点とする
地域に根差した物流機能



③ 製造受託

① 物流

トレーディング

サステナビリティに貢献する
回収・リサイクル機能



パッケージ分野における
加工製造機能

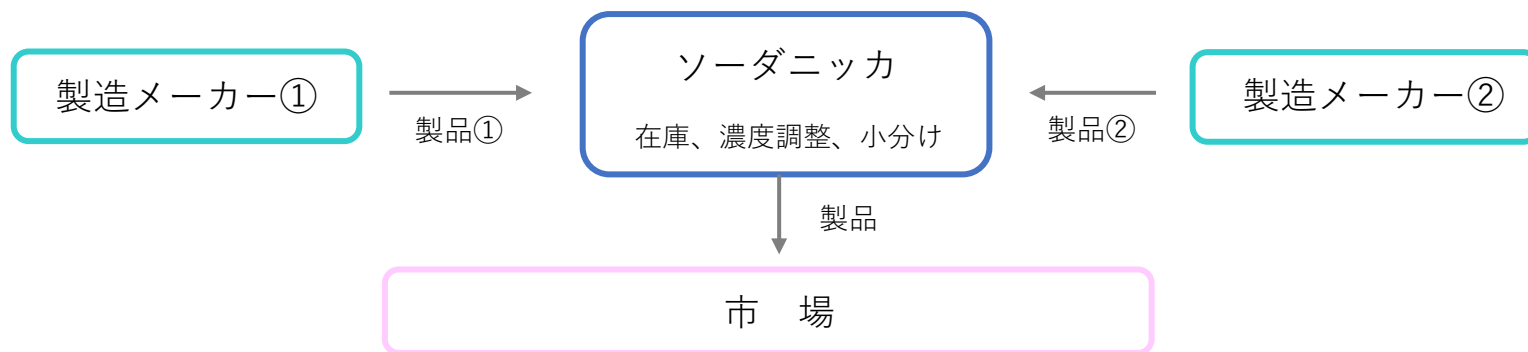


④ 回収・
リサイクル

② 製造

①物流機能

遠隔地域においては、当社のケミカルセンター(物流倉庫)を活用し、化学品の在庫販売、濃度調整、小分けなどを行っている



▶ 独自性：需要対応、安定供給、効率配送を可能にする確かな物流機能

- ケミカルセンターの設備



化学品タンク



タンクローリー用出荷設備



充填作業

概要

- 中国地方における物流機能の強化および化学品需要への対応のため、各種設備を増強。
- 投資額：約12億円
- 2024年4月に竣工し、現在稼働中。

近況・期待される投資効果

- 在庫、生産、出荷能力の増強により、中国地区の全域における拡販体制の基盤を確保。
- 出荷量増加に伴い収益性も向上。同時に物流機能による地域貢献にも寄与することが期待できる。

広島大野ケミカルセンター

当社が全国に4拠点持つ、化学品物流基地のひとつ。
細かな顧客ニーズに応えるため、在庫・製造・濃度調整・小分けの機能を担っている。



タンクローリー用出荷設備



苛性ソーダタンク、塩酸タンク

概要

- 2026年4月の稼働開始を目指し、現在建設中。
- 外部委託の在庫を集約化しコスト低減を図るとともに、管理システムによる保管効率や作業効率の最適化を進める。
- 「サステナブルな倉庫づくり」をコンセプトに、「環境」「職場環境」「地域」を意識した設計。

設備概要

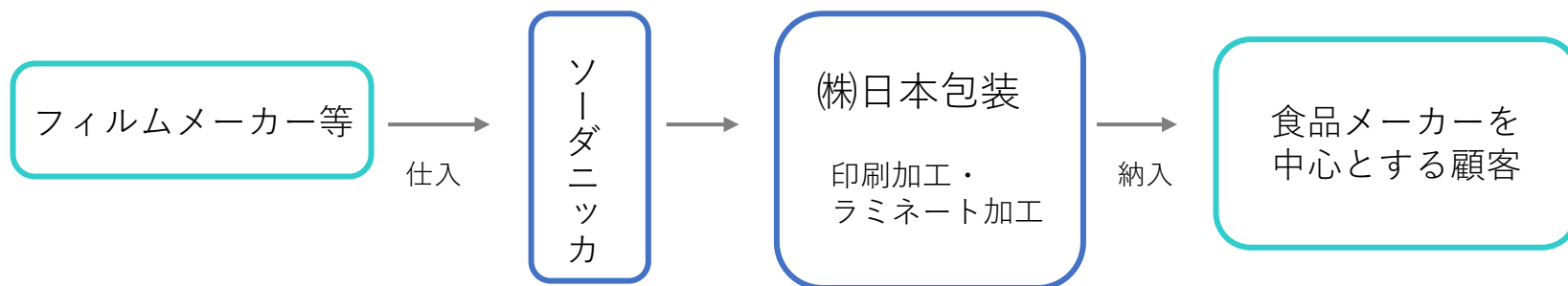
- 敷地面積 2,775.40㎡ / 延べ床面積 1,386.23㎡
- 在庫商品：化学品、フィルム、機能材
- 富士山の地下水を利用した空調により、従来より約80%の使用電力削減。構内アスファルトには廃ペットボトルを原料とするアスファルト補強材を採用。
- 倉庫の屋根上は浸水災害時には高所避難所として近隣住民も活用可能に。



建設中の倉庫 外観/内観

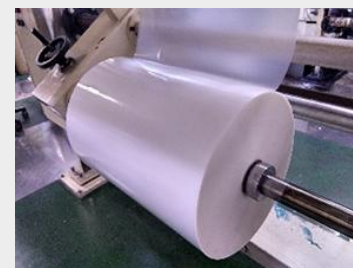
②加工製造機能

パッケージ事業においてグループ会社の製造機能を活用



▶ 独自性：パッケージに関わる仕入～製造～販売まで一貫した対応力

- 当社は**仕入・加工製造・販売**の機能を自前で保有する**独立系商社**
- グループ会社にフィルムの印刷加工メーカーである**(株)日本包装**があり、**日本包装の製造機能×ソーダニッカの商社機能**により、サプライチェーン全体をカバー



概要

- パッケージ関連商品の生産能力引き上げのため、最新鋭の設備を導入した新工場を岡山に建設。
- 投資額：約4.3億円
- 2024年10月に竣工し、試運転を経て順調に稼働中。

近況・期待される投資効果

- 食品業界向けを中心に新規案件の獲得が進んでいる。
- 今後は早期の量産体制確立を目指し、段階的に生産拡大へ移行。
- グループの販売網と製造機能の掛け合わせにより、パッケージ商品拡販を目指す。

株式会社日本包装

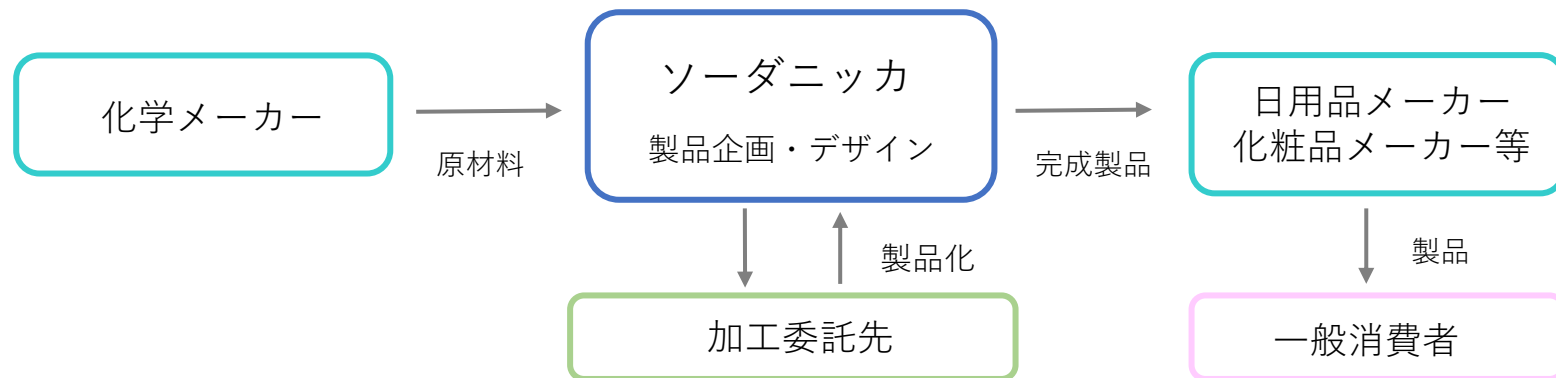
フィルムコンバーティングメーカー。

2014年5月に100%子会社化。ソーダニッカグループ唯一の製造拠点。原反フィルムを調達し、グラビア印刷化工・ドライラミネート加工等を行い、食品メーカー等へ包装用フィルムとして販売している。



③ 製造受託機能

日用品分野を中心に製造受託(OEM・ODM)仲介ビジネスモデルを展開



▶ 独自性：製品の企画・原料調達・製造委託先の仲介まで、一貫して対応可能

- 消費者ニーズの多様化に伴う「多品種・小ロット生産化」への対応

2022年 Dr.アパタイト社と薬用歯磨きジェルを共同開発
当社は原料調達・製造委託、および容器デザインの企画に携わった。



④回収・リサイクル機能

サーキュラーエコノミーへの取組みに挑戦

- ✓ **プラスチック代替素材**を活用した、環境問題解決に資するビジネスに挑戦
- ✓ 他業種・自治体等との連携が不可欠であり、商社として培ってきた「**業種を超えたコーディネート力**」の発揮

✓ Pickup : Jリーグクラブとの取組み

- スタジアムで提供される**グルメ容器を生分解性容器(PLA容器)**に置き換える取組み
- **地産地消サイクル**【飲食後に回収→生分解(たい肥化)→各地域で再資源化】
- ユニフォーム等への展開にも挑戦

Jリーグクラブ・ザスパ群馬にて開催された「SDGsデー」に参加した際の様子。テイクアウト提供容器をリスパック社の生分解性樹脂容器(PLA容器)に置き換える取組みを実施。



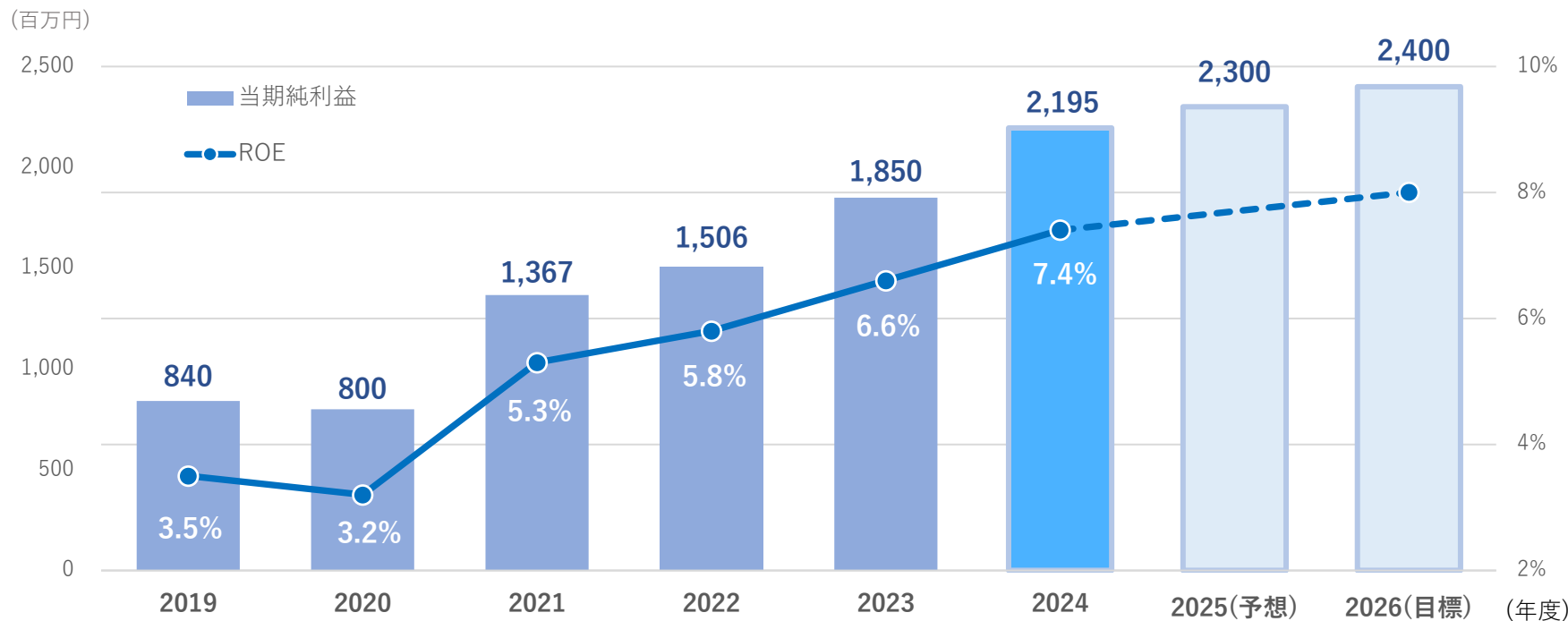
中期経営計画STAGE3 計数計画推移

STAGE 3 最終年度 目標値 (2026年度)

連結当期純利益
24億円以上

ROE
8%以上

配当性向
40%以上



配当性向： 41.6% 43.7% 40.8% 60.3% 44.4% 41.4% 40%以上の定常化を目指す

Go forward STAGE 2

Go forward STAGE 3

1. ソーダニッカのご紹介
2. 成長戦略
中期経営計画“Go forward STAGE3”
3. 株主還元

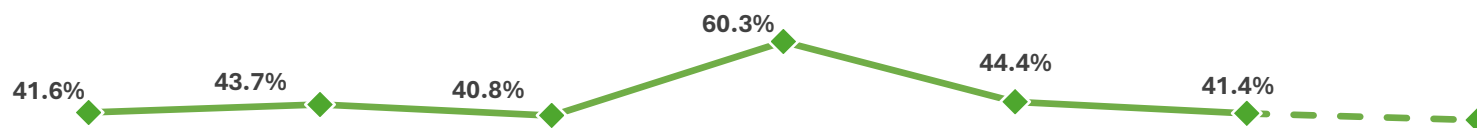
株主還元の様況

【株主還元方針】

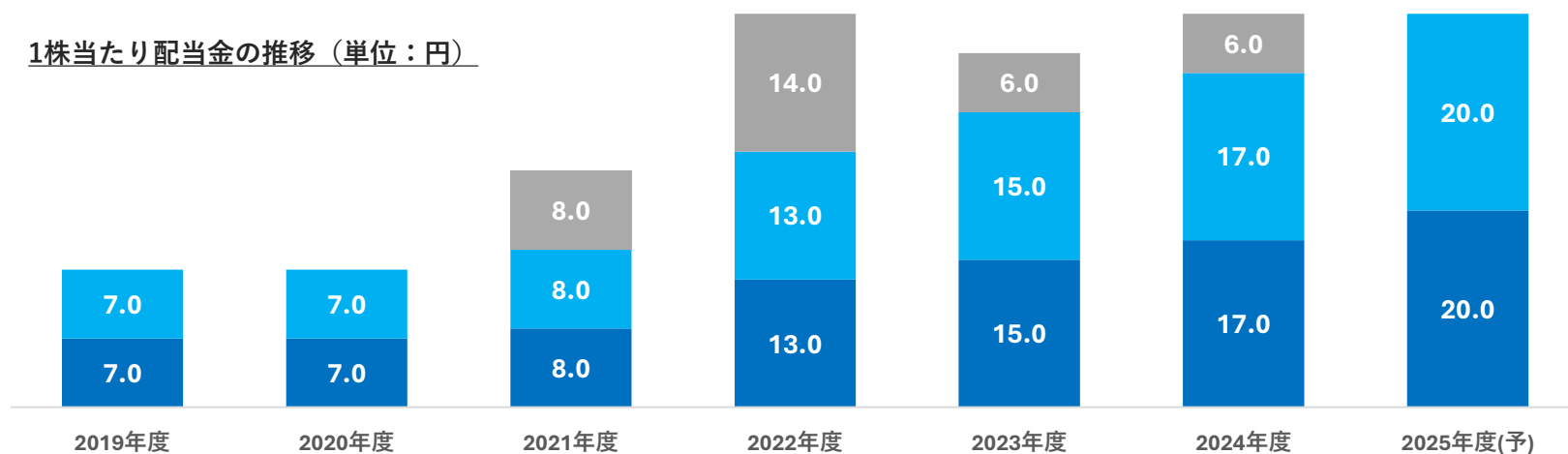
中期経営計画「Go forward STAGE3」の期間中において**配当性向40%以上**の定常化

【2026年3月期 配当予想】

- 普通配当として**中間/期末 共に20円**の配当を予想
- 現状で**期初予想からの変更なし**



1株当たり配当金の推移 (単位:円)



■ 中間配当金 ■ 期末配当金 ■ 特別配当金 ● 配当性向

株主優待制度

毎年3月末日時点で500株(5单元)以上保有の株主様が対象



QUOカード

一律1,000円分を贈呈

毎年3月末日時点で1,000株(10单元)以上保有の株主様が対象



QUOカード

一律3,000円分を贈呈



プレミアム優待倶楽部

保有株数に応じて優待ポイントを贈呈

プレミアム優待倶楽部における付与ポイント

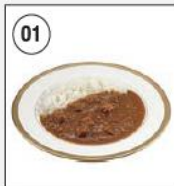


株主優待ポイントに応じた商品への交換ができます

保有株式数	付与ポイント数
1,000株 ~ 1,499株	3,000 ポイント
1,500株 ~ 1,999株	12,000 ポイント
2,000株 ~ 2,499株	22,000 ポイント
2,500株 ~ 49,999株	40,000 ポイント
50,000株以上	50,000 ポイント

ポイント交換品

1,000ポイント



01
ビーフカレー 中辛
200g×2食



02
老舗鯉節屋の
和風だしセット
6袋



03
<MIRAi>
YAKUMO
ウォッシュタオル
約34×35cm ページュ

3,000ポイント



07
福山製麺所「旨麺」
醤油・塩・味噌・豚骨
各80g×2食



08
佃煮惣菜詰合せ
のり佃煮・原種えのき茸・
茸生姜佃煮 各1



09
嬉野銘茶詰合せ
100g×2袋

6,000ポイント



13
鹿児島 黒豚生餃子
(島唐辛子)
12個入×6箱
賞味期限:出荷日より冷凍30日



14
<長野・丸正醸造>
信州味噌詰合せ
豊穣茜みそ 2袋、
豊穣桜みそ 4袋 各500g

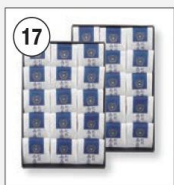


15
<オクソー>
クリアサラダスピナー
大 27×27×20.5cm

10,000ポイント



16
仙台牛 肩ロース
しゃぶしゃぶ用
400g
賞味期限:出荷日より冷凍30日



17
紀州南高梅
はちみつ味
30粒 計750g



18
<京都 北川半兵衛>
お抹茶アイス
大納言あずき入り抹茶 13個・
抹茶 12個

22,000ポイント



22
神戸牛 肩ロース
すき焼き・しゃぶしゃぶ用
各450g
賞味期限:出荷日より冷凍30日



23
<鎌倉>
鰻楽うなぎ蒲焼
5尾
賞味期限:出荷日より冷凍30日



24
<福岡・博多柳橋連合市場>
幸村英商店・海産物
専門原口商店
明太子詰合せ 1.44kg
賞味期限:出荷日より冷凍30日

50,000ポイント



28
<スギモト>
松阪牛 肩ロース
すき焼き・しゃぶしゃぶ用
各725g
賞味期限:出荷日より冷凍30日



29
ポイルずわいがに
半むき身
計4,000g



30
<日本のおいしいお料理>
伊勢海老フライと
伊勢海老チリソース
各2個
賞味期限:製造日より冷凍90日

保有株式数ごとの総合利回り

保有株式数	配当金額 ※26年3月期予想： 40円/株	QUOカード	付与ポイント数 ※1ポイント = 1円換算	配当 + 優待利回り ※株価：26年1月30日 時点1,168円/株の場合	概算購入金額 ※株価：26年1月30日 時点1,168円/株の場合
500 株未満	～ 19,960 円	—	—	～ 3.4 %	～ 582,832 円
500 株	20,000 円	1,000 円分	—	3.6 %	584,000 円
1,000 株	40,000 円	3,000 円分	3,000 ポイント	3.9 %	1,168,000 円
1,500 株	60,000 円	3,000 円分	12,000 ポイント	4.2 %	1,752,000 円
2,000 株	80,000 円	3,000 円分	22,000 ポイント	4.5 %	2,336,000 円
2,500 株	100,000 円	3,000 円分	40,000 ポイント	4.9 %	2,920,000 円
50,000 株	2,000,000 円	3,000 円分	50,000 ポイント	3.5 %	58,400,000 円

本日のまとめ

1

ソーダニッカは、**カ性ソーダ**の国内取扱高で**トップクラス**を誇る化学品の専門商社

2

中期経営計画 Go forward STAGE 3 では、**トレーディング+ α** の**機能強化**を目指し、
これまでに**物流機能・製造機能**の強化を目的とした設備投資を実施

3

将来に向けた事業投資・成長ビジネスの育成・資本効率向上のための施策を推進し、
4期連続で過去最高益を更新中

4

25年2月に**株主優待制度を拡充**
株主還元方針として**配当性向40%以上**の継続的な確保を目指す

ご清聴ありがとうございました。

< 参考資料 >

参考：会社概要



※ 2025年3月31日現在

企業理念

時代を先取りする積極的経営を旨とし、**信用維持を第一に新しい価値の創造**を通じて社会に貢献し、人々の文化生活の向上に資する商品、サービスの提供を図る。

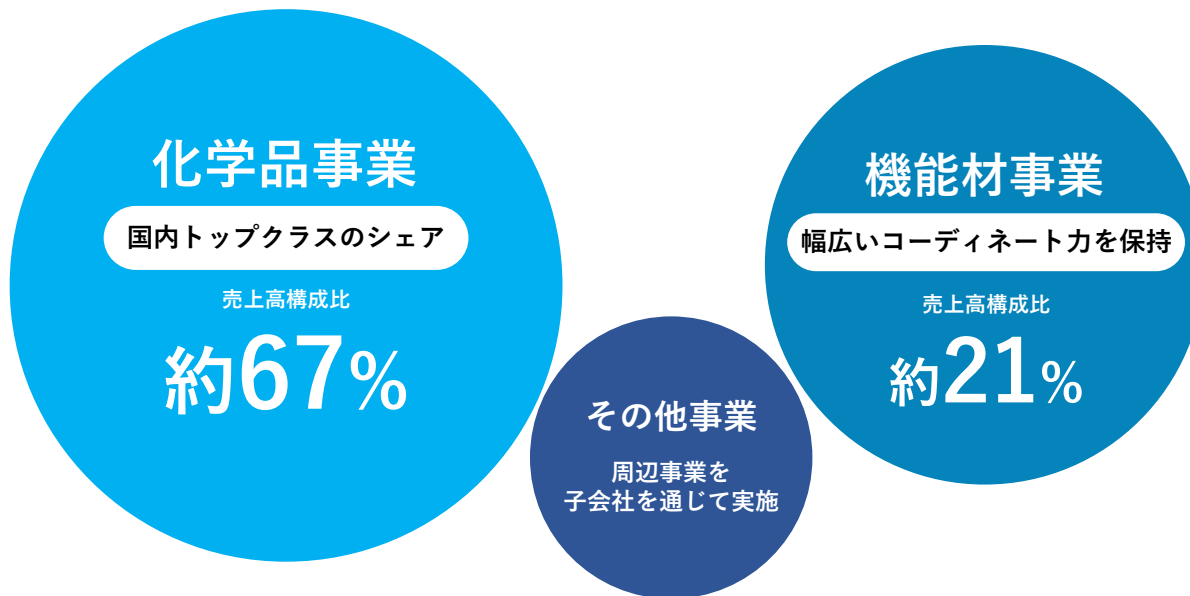
経営方針

明るくたくましい社風の中で、**全員参加による経営を主眼に、未来に向かって繁栄する、健康で力強い職場を建設する。**

長期ビジョン「Go forward」で目指す役割

“**社会と化学のコーディネーター**”として、取引先・地域社会とともに**社会課題を解決**する。

基礎化学品を主軸に、3セグメントで事業を展開



無機薬品



有機薬品



紙パルプ関連薬品



合成樹脂



包装関連製品



設備・機械

■グループ会社

ソーダニッカビジネスサポート株式会社	主として当社からの受託業務及び・運送業
株式会社日本包装	主として関西地区及び中国地区における包装資材の加工・販売
モリス株式会社	主としてベトナムからの商品輸入及びベトナムに進出する企業のコンサルティング業務
株式会社日進	主として中部・関西・北陸地区における包装資材・機器等の販売
株式会社野津商店	主として山陰地区の工業薬品販売、各食料品の原料資材の販売
曹達日化商貿(上海)有限公司	主として中国における工業薬品類や機能材等の販売、日本への輸出版売
PT. SODA NIKKA INDONESIA	主としてインドネシアにおける工業薬品類や機能材等の販売、日本への輸出版売
SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD	主としてベトナムにおける包装関連商品等の販売、日本への輸出版売

参考：全国拠点

● 事業所

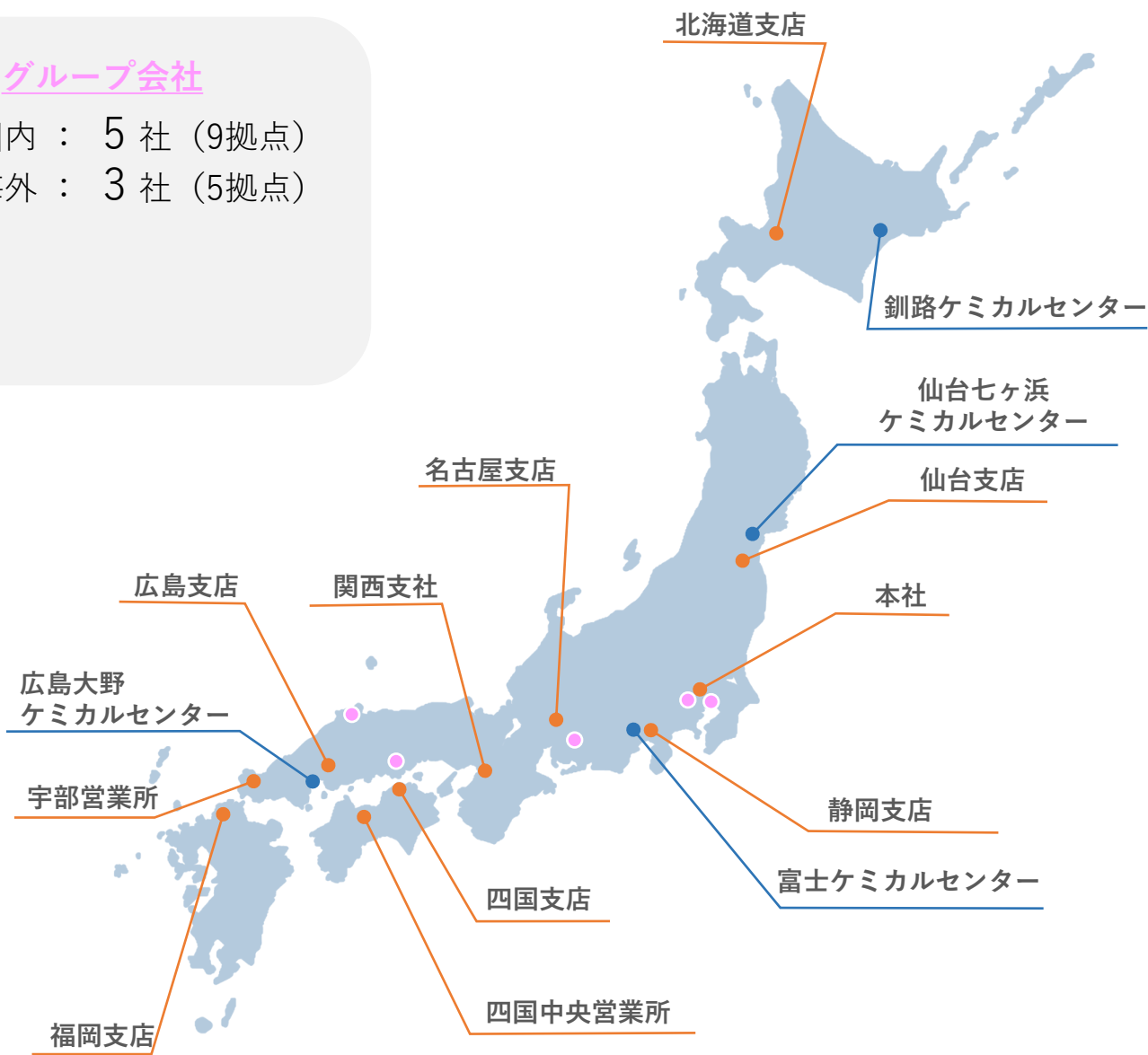
国内：11拠点
海外：2拠点

● ケミカルセンター

国内：4カ所

● グループ会社

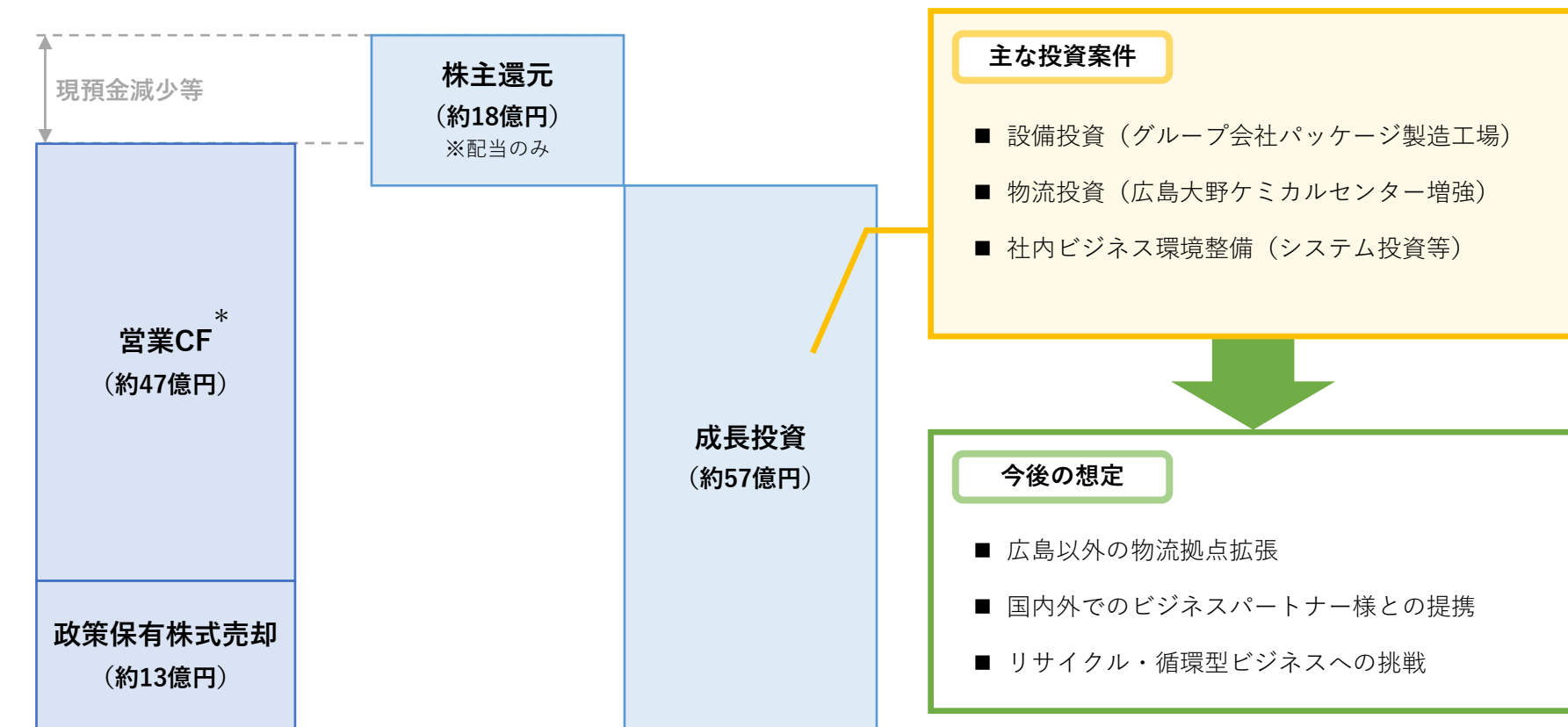
国内：5社（9拠点）
海外：3社（5拠点）



2024年度までの累計キャッシュ・アロケーション

キャッシュ・イン
(累計：約60億円)

キャッシュ・アウト
(累計：約75億円)



* 営業CFは、売上債権、棚卸資産、仕入債務の増減額を除く

個人投資家の皆様へ

当社についてのより詳細な情報は
WEBサイトをご確認ください。

個人投資家様用WEBサイト



右記QRコードをお読み取りいただくと
当社ホームページを閲覧できます。

決算説明会

決算説明会アーカイブは
こちらよりご覧ください。

IRイベントWEBサイト



右記QRコードをお読み取りいただくと
資料及び動画を閲覧できます。

What's ソーダニッカ

クイズ形式で当社をご紹介します。
ぜひ挑戦してみてください。

ソーダニッカクイズ



右記QRコードをお読み取りいただくと
当社に関するクイズに挑戦できます。

免責事項

本資料は、2026年2月14日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、

その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



ソーダニッカ株式会社

経営企画・IR部

sn-ir@sodanikka.co.jp

<https://www.sodanikka.co.jp>